



ゆめっくる 11月29日(日)

図書館フェスティバルで

新しい研究成果

いままで一頭しかいないと考えられていたヌマタネズミイルカに新しい化石(右写真)が加わりました。新しい成果を展示します。是非、ご覧ください!



↑第一(左)と第二(右)のヌマタネズミイルカの耳の骨

上記の研究成果が日本古生物学会で公開されています(英文)。和文解説は先月の化石館だよりをごらんください(裏面下を参照ください)。

http://www.palaeo-soc-japan.jp/download/PR_in_press/2015PR026_Tanaka.pdf



活字中毒の方への手紙

クジラ化石を掘り出しています

学芸員 田中嘉寛

沼田町で最も多い化石はクジラです。しかも、現代では死に絶えてしまった古いタイプのクジラであったことが、研究によって徐々に明らかになっています。

現在、研究を行うために、化石を石から掘り出す作業「クリーニング」を行っています。場所は厚生クリニック前、沼田町化石館「レプリカ工房」です(写真1)。

化石クリーニングはタガネとハンマーで余分な石を大きめに切り落とすことから始まります。表面に見える化石が何か推定し(例えば、肋骨や背骨など)、石の切り落としやすい向きを調べてから作業を始めます。石はただ均一では有りません。かつて海で積み重なった土なので、割れやすい向きが確かにあります。しっかり観察し、計画を立てることで効率よく作業を進めることができます。

大きく石を切り落としたり、次はエアスクライパーと呼ばれ、細かく振動する針を使って、骨に付いている石を弾き飛ばしていきます。

現在作業中のクジラ化石は2000年に幌新太刀別川の上流で沼田町の松原一雄、利浩氏によって発見されたもので、標本番号NFL 17として登録されています(写真2、3)。

これは頭部も残されており、クジラの進化を説明できる世界的に見ても重要な化石です。



写真1; 作業現場。沼田町化石館「レプリカ工房」



写真2; 作業中のクジラ化石



写真3; クローズアップした様子。肋骨が2本見えます。

化石体験館(幌新)は4日、冬季休館に入りました

今年度を振り返ります



クジラ類の専門家、フォーダイス博士とネットにつないでの講演会(ほろしん温泉にて)



夏特別展ヌマタネズミイルカと発見者の山下教諭



←札幌ロイヤルセンチュリーホテルで展示されたヌマタネズミイルカとヌマタカイギュウ。講演会も行いました。

3年ぶりに骨化石を発見した、札幌の小林さん(取材を受けているところ)→



ご存知でしたか?

この化石館だよりのカラー版は「沼田町化石館」ホームページでご覧頂けます。ホーム>化石館について>出版物



ほかにも、沼田町から出ている化石、ヌマタネズミイルカの発掘など、詳しくわかる冊子シリーズもダウンロードできます。

11月 化石館の予定

- 11月15日 プラネタリウム(町民会館にて 16時より 無料)
- 11月29日 図書館フェスティバルに参加します(ゆめっくる)

沼田町化石館だより 2015年11月 88号
発行/沼田町化石館 編集/田中嘉寛
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7-49
電話/Fax 0164-35-1034
メール/kaseki@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>

化石館だよりは毎月第二木曜日発行。次回は12月10日です。